



ふきのとう

第39号

【発行】
社会福祉法人
秋田県社会福祉事業団

〒010-1412
秋田市御所野下堤五丁目1番地の1
TEL 018-889-8360 FAX 018-889-8361
HP <http://www.fukinoto.or.jp>
e-mail mail@fukinoto.or.jp

由利本荘地域生活支援センター「ぐんぐん」



「のびのび」



目次

- P 6
P 5
P 4
P 3
P 2
- ・ 感謝状の贈呈について
・ 相談支援従事者研修の運営について
・ 表彰
・ 令和三年度退職者
・ 令和四年度新規採用職員紹介
- ・ 令和三年度退職者
・ 由利本荘地域生活支援センター

事業紹介

由利本荘地域生活支援センター

由利本荘地域生活支援センターは、相談と通所の機能に特化して地域のニーズに密着したサービスの提供をしています。指定相談支援事業、基幹相談支援事業、障害者就業・生活支援センター、生活介護事業などを実施していますが、今回は児童通所支援事業（児童発達支援事業・放課後等デイサービス）についてご紹介します。

児童発達支援事業・放課後等デイサービスは、発達が心配なお子さんが楽しく安全に過ごせる場所を提供し、その中で情緒面や個々の能力の成長を目指しています。事業所「のびのび（定員十名）」は、平成二十八年四月にサービスを開始しました。当該サービスとしては由利本荘市で初めての事業所で、開設当初から予想以上の反響がありました。地域のニーズに応えるため、平成三十一年四月より、羽後本荘駅近くで「ぐんぐん（定員十名）」も事業を行っています。

事業所内には毎日、学習に創作活動に運動にと元気いっぱい取り組む声が響いています。ご本人の成長しようとする意欲を伸ばし、ご家族の思いに応えられるよう、これからも職員一同全力で取り組んでいきたいと思っています。



節分



ハロウィーン



クリスマス

令和3年度 退職者



事務局 古田 俊之

事務局長 古田 俊之

昭和五十九年に臨時職員として働く機会をいただきました。以来、多くの先輩、上司の皆様のご指導、同僚の皆さんのお力添えをいただけてまいりました。おかげさまで今日を迎えることができました。

業務の中で力不足を感じ、もっと何かができたのではないかと思ひ返します。ふとしたことで利用者さんとの会話や様々な場面を思い出し、その時の思いに気づけなかったことを後悔することも多くあります。

直接支援の場から離れてしばらくになりましたが、場所が変わっても、事業団の施設を利用される方々が笑顔で安心できることを願って勤めてきたつもりです。また、ご家族の皆さまにもお役に立てていたなら、この上ないことです。

これまでご縁をいただき、導いていただいた皆さまに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



秋田県南部老人福祉総合エリア

管理者 加藤 敦

いつの間にか還暦を迎え、定年退職という立場になり、一言では言い表せない複雑な気持ちで思いを巡らせています。

まだ若かりし二十五歳で事業団へ採用となり、何も知らぬまま福祉の世界へ飛び込みました。入職当初は社会経験が浅く、多々お叱りを頂き、自分の未熟さを感じながらの不安な毎日でした。あれから三十五年、転勤を重ねる毎に多くの出会いと別れを経験し、その過程で沢山のことを学ぶことが出来ました。その経験こそが自分を人として成長させてくれた大切な宝物であったと、今になって感じています。

三十五年間、事業団には大変お世話になりました。そして、これまで支えて頂いたすべての方々に感謝、感謝です。ありがとうございました。



秋田県南部老人福祉総合エリア

軽費老人ホーム 主査 佐藤 由美子

平成元年一月に南部エリアの調理員として採用になりました。当初は、施設の大規模調理の経験もなく不安もありましたが、職員の皆様のお助けや支え、利用者様の「おいしかったよ」という言葉や優しさに触れて、健康で今日まで勤める事ができました。

三十三年を振り返ると感染症や災害など大変な事もありましたが、何よりも皆で過ごした楽しい日々が思い出されます。無事に定年退職を迎える事ができたのは、皆様のおかげと大変感謝しております。

新型コロナウイルスが落ち着いて職員や利用者の皆様も安心して過ごせる日常が一日も早く来る事を心より願っております。

事業団の益々の発展と、皆様のご健康とご活躍をお祈り申しあげます。

長い間お世話になりました。本当にありがとうございました。



秋田県心身障害者センター

銀杏支援課 支援係長 工藤 武志

社会福祉事業団採用から三十四年、南部エリア養護三年・阿枝園三年、二十八年をセンターで勤務させて頂きました。

採用時は職員宿舎を利用していました。配属先の利用者さんが山菜を持参してくれたり、草刈りを手伝ってもらったりしていました。僅かばかりのお礼をすると、その後も足を運んでくれた様に記憶しており、今でも懐かしく思い出されます。

退職に当たり、特別な知識・技能もなかった自分が今日を迎えられたのも、諸先輩・上司・同僚・部下など仲間の「支援」のおかげと、ただただ感謝の気持ちでいっぱいです。

長い間お世話になり、ありがとうございました。



令和3年度 退職者



秋田県心身障害者コロニー

管理課 主査 仙波和美

四季折々の季節を感じながら四十年間コロニー街道を通勤し、この度無事に定年退職を迎えることができました。これも職員の方や利用者の方々の皆様のおかげと感謝しております。

思い返せば、長いようで短い四十年でした。管理課や支援課等、職種の違う部署で多くの経験を積み学ばせていただきました。大変なこともありましたが、何よりも人との出会いが大きな財産になりました。これからは、孫七山を自宅から眺めながら、ゆっくりと今後の人生を考えたいと思っています。今日まで温かく支えて下さった皆様には、心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。



やまばと園

管理課 上席看護師 下田 真由美

平成元年二月に南部シルバーエリア養護老人ホームで採用になり、利用者さんの生活に深くかわらせていただく中で、多くの事を教えていただきました。人生の最後をどのように迎えたらよいのか考えさせられた時もありました。また平成二十八年よりやまばと園に異動になり、初めての障害者施設での勤務でしたが、利用者さんとの関わりはとても楽しく、貴重な年間だったと思います。定年まで健康で勤務できたことは周りの職員の方々のサポートのおかげだと思っています。本当に感謝しかありません。ますます厳しい環境になっていく中、皆さまのご健康とご活躍を心から願っています。本当に利用者の方々の皆様、職員の方々の皆様、ありがとうございました。



障害者支援センター御所野

所長 村山 紀枝

三十三年前の平成元年四月一日土曜日、この日から私の福祉業務が開始しました。まだ半ドン（半日勤務）があった頃で、事務局本部も福祉会館内にあり、そこで辞令交付式が執り行われました。

訓練センター、高清水園、コロニーとご縁があり、利用者様やそのご家族様から沢山の事を教えて頂き成長することが出来ました。これまで育ててくださった諸先輩方、励ましてくれた同僚、支えてくださった後輩等、全ての皆様様に感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。最後に、利用者様のご多幸と事業団のご発展、職員の方々の皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます、退職の挨拶と致します。

○秋田県心身障害者コロニー

- 主任 照井 広幸
- 栄養士 伊藤 香子
- 支援員 進藤 夏織
- 支援員 大滝 将也

皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

☆ 表彰 ☆

○全国社会福祉事業団協議会会長表彰（永年勤続）

- 事務局 古田 俊之
 - 事務局長 加藤 敦
 - 秋田県南部老人福祉総合エリア 管理者 村山 紀枝
 - 障害者支援センター御所野 所長 村山 紀枝
- 受賞おめでとございました。



令和四年度新規採用職員紹介



高清水園

支援課 支援員 奥州 敬祐
この度高清水園の新職員として勤務することとなりました奥州敬祐と申します。利用者の皆様への最適な支援の提供、福祉事業団ひいては秋田全体の福祉への貢献が出来るよう努めて参ります。よろしくお願い致します。



高清水園

支援課 支援員 坂田 光聖
四月より採用となりました坂田光聖と申します。利用者の方々に寄り添った支援を提供し、職員の方々から教わることを着実に吸収して、立派な事業団職員となるよう努めて参ります。よろしくお願い致します。



秋田県心身障害者コロナー

管理課 栄養士 佐々木 紀子
おいしくて、安心・安全な食事を提供できるような心掛け、今まで学んできた事を活かして頑張りたいと思っております。また、自分自身も成長できるよう努力したいと思います。よろしくお願い致します。



秋田県心身障害者コロナー診療所

看護師 田中一嘉
四月より採用となりました田中一嘉と申します。利用者様が安心・安全で何より自分らしく生活ができるように、自分自身もスキルアップし信頼関係を築いていくよう努力していきます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



秋田県心身障害者コロナー

銀杏支援課 支援員 増村 俊亮
四月より採用となりました増村俊亮と申します。福祉の専門的な知識や技術を身に付け利用者の皆様により満足して生活ができるよう支援に努めますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



秋田県心身障害者コロナー

白光支援課 支援員 鈴木 政人
三月まで高清水園の契約職員として十二年間勤務しておりました。これまでの経験と配属先で新たに学ぶことを合わせて支援出来るよう日々努力し、利用者様が安心して笑顔で過ごせる支援を提供出来る職員になりたいです。



秋田県心身障害者コロナー

創生支援課 支援員 遠田 聡美
以前は保育士をしていました。その中で障害を持った方の支援も経験してきました。今までの経験を活かしながら、更に知識を深め、一人ひとりに寄り添った支援を心掛けていきたいと思っております。よろしくお願い致します。



秋田県心身障害者コロナー

創生支援課 支援員 佐藤 伸亮
「安心と豊かな生活をまごころで」の基本理念のもと、ご利用者様やそのご家族様に喜ばれる支援を目指して勤務したいと思っております。中年の新人職員ですが、何卒、よろしくお願い致します。



阿 桜 園

支援課 支援員 田口 明積
四月より採用となりました田口明積と申します。利用者の方々のお気持ちに沿えるような支援員になれるよう、職員の皆様の指導や日々の業務を通じて成長していきたいと思っております。よろしくお願い致します。



阿 桜 園

支援課 支援員 高橋 諒
この度採用となりました、高橋諒と申します。湯沢市出身で、学生時代は保育についての知識や技術を学びました。学びの姿勢を忘れずに、一人ひとりの気持ちに寄り添った支援をしていきたいと思っております。



障害者支援センター 御所野

支援課 支援員 村井 蓮弥
利用者の皆さんが安心、安全に充実した生活を送れるよう日々精進して参ります。仕事に誇りを持ち、笑顔を忘れずに、立派な支援ができるよう努めていきます。よろしくお願致します。



相談支援従事者研修の運営について

当法人では、令和三年度より秋田県の相談支援従事者研修事業（初任者研修・現任研修・講師養成研修）を受託することとなりました。

コロナ禍でどのように研修を開催していくべきかを講師の方々と何度も話し合い、四日間の現任研修は、研修会場に会場して受講する「集合研修」とオンラインを介して受講する「オンライン研修」を組み合わせ、「ハイブリッド型」で研修を実施しました。初任者研修は八月の開始から七ヶ月かけて、各圏域でのインターバル実習を含め、七日間の研修となりました。

その期間中、新型コロナウイルスの感染拡大のため、集合研修で行っていたものを急遽オンライン研修に切り替えざるを得ない状況となり、臨機応変に研修を運営することの難しさを感じました。

オンライン研修で使用するツールの作成や受講生への丁寧な説明など、準備には今まで以上に労力を費やし、さらに当日は接続トラブルも多く、受講生にもご迷惑をおかけしてしまいました。講師を担ってくださった方々の熱意とご協力のおかげで、何とか最後まで執り行うことができました。運営側としても学ばべきことの多い研修会となりました。



いつの日か消毒液や体温計、パーテーションといった感染症対策が不要となり、受講生同士が声高らかに語り合えるより充実した研修会が開催できることを祈り、事務局として研鑽を積んでいきたいと思えます。



感謝状の贈呈について

この度、岩手県釜石市から、当事業団が実施した東日本大震災被災地支援ボランティア活動に対する感謝状の贈呈がありました。

岩手県釜石市でのボランティア活動は平成二十四年から平成二十六年にかけて合計六回でしたが、釜石市の復旧・復興に僅かであっても貢献できたこと、また、それに対する感謝の意を頂戴できたことを大変うれしく感じております。

今後もボランティア活動のほか、様々な活動を通して地域に貢献できる法人であるよう尽力して参りたいと思えます。

